

職種	校種	6. 職場実態をふまえた「学校の働き方改革」に関するご意見（200文字以内）	
1 栄養教職員	中学校	中学校籍、共同調理場勤務の栄養教諭です。給食管理の仕事だけでも定時で終わりません。1人7~8校の食育を行っています。給食時間の現状把握もままなりません。栄養教諭の必要性や学校栄養職員との差別化を図るため、文部科学相は個別相談指導に力を入れていく、ということをご先日間かされましたが、今の人員配置では無理です。人を増やさずビルド&ビルドの仕事は限界です。	匿名希望
2 養護教員	小学校	昼休みに保健室へ入室する子どもがいるため休憩を取れないので、養護教諭もきちんと休憩時間を取れるような体制作りをしてほしい。	匿名希望
3 教員	中学校	中学校での超勤の大きな原因は部活動だと思います。私が若かった頃と違い、学校現場の多忙化が進んでいる状況の中、また保護者、生徒からより専門的な指導を求められる中、部活動の顧問をしていくことは体力的にも精神的にも大変厳しいです。教職員の人の良さにつけ込んだ部活動の在り方ではなく、地域移行など教職員の働き方改革について早急に進めたい。	匿名希望
4 教員	小学校	どこの職場でも慢性的な教員不足になり、一人の抱える業務が一層増えている現状です。教員不足になっている根本的な要因を考える（職場環境を変える）とともに、現場の負担を減らす（人を増やす）よう、切に願います。	匿名希望
5 教員	小学校	休憩時間も取れず、トイレにすら行くタイミングがない。ヨーロッパ並みの1学級20人台にして教員を増やしてください。人がいれば業務の分担ができます。人がいれば、業務の	匿名希望
6 教員	小学校	個別対応が必要な子どもが増えている中、いじめ対応・けんかなどのトラブル対応・子どものカウンセリング・保護者対応（自分の子どもの事だけ考えたクレーム）と、放課後の17時までには到底終える事ができない現場。本業の翌日の授業準備は後回し。 教職員の人数を大幅に増やすべき。	匿名希望
7 教員	小学校	やらなければいけないことや業務が増えていく一方で、減らすことがなされていないと感じています。管理職は業務改善について着々と進めることが出来ているとの認識ですが、そうは思えないのが現状です。	匿名希望
8 教員	中学校	長時間過密労働、時間外勤務の長時間化が解消されないなか、教育行政や管理職の姿勢には全く危機感や使命感を感じません。「教員が足りない、って本当なのか」という声も聞こえてきます。一方で、望まない業務を引き受けざるを得ない人員不足の実態も常態しています。誰にとっても働きやすい職場を早期に実現できるよう取り組みをすすめてください。	匿名希望
9 教員	小学校	勤務時間の設定が、実際の教育現場と合っていない。（勤務開始時刻よりも早い児童たちの登校、昼休みの事務作業、下校後の事務作業等）	匿名希望
10 教員	小学校	勤務時間内に処理できない業務が多くあります。人を配置し、業務を分散できるようにしていただきたいです。また、時間外勤務に対して手当をつけていただきたいです。若い人が教育に携わりたいと思うようになれば、教員の成り手がいません。	匿名希望
11 教員	小学校	みなさんがとても真剣に業務に当たっているのが、割り当てられた分掌を一生懸命こなします。そのため、次から次へと業務が増えていくことが多いです。昨年度のものを続けていることが多いです。毎年業務のリセットが必要なのではと思います。	のりお
12 教員	小学校	小学校の勤務時間は、児童が登校する時刻から下校する時刻まで休憩する時間はないのが実態です。実際には、昼の休憩時間にも休憩したことはありません。教職員が昼の休憩時間に休憩するには、別の職員が必要です。ですので、学校にもっと職員を増やしてほしいです。	匿名希望
13 教員	小学校	退勤19時を守っても、早く帰れば帰るほど持ち帰り業務がどんどん増えていきます。	うさぎさん
14 養護教員	小学校	業務量が多く、残業をしないと終わらない現状であるが、早めの退勤を勧められる。児童がいるうちはその対応、下校してからでないと事務作業に手がつけられない。職員健康診断や、就学時健康診断、血液検査など本来自分や学校の職務でないことも業務に含まれている。	匿名希望
15 教員	小学校	仕事が終わらず帰れない。今の現場の業務が削減されない。入教できる職員がおらず平日は休みが取れない。規定の勤務時間内は子どもへの授業などの時間で、そのほかの授業準備や行事などの計画準備の時間が勤務時間内では終わらない。	匿名希望
16 事務職員	小学校	勤務開始時刻前に子供たちが登校、勤務時間が終了しているのに部活動。あたりまえではありません。これ以上教育現場から過労死を出さない!!という強い意思を持って、改革を進めてください。	匿名希望
17 教員	小学校	児童の登校を勤務時間開始後にする。児童の安全管理からも重要である。勤務時間内に二時間の準備時間を設定する。校務表をみても、そのような時間がなく、放課後の時間はほぼない。人を増やす。	匿名希望
18 教員	小学校	校区が広い為、バスでやってくる児童が多く、勤務開始時刻より20分前には児童の多くが登校している。それに合わせて職員は勤務開始時刻の45分前または1時間前には出勤している。休憩時間がない。毎日必ず夕方七時までは勤務しているが、自分がこれから先分掌も増え、保護者になった時に果たしてやっていけるのかとても不安である。（彼も教員の為。）	匿名希望
19 教員	中学校	月45時間を超えると管理職面談の後再度勤務時間の確認をさせられます。それでも超えてしまうと「教育長面談」になります。威圧的で脅迫的で泣いて帰ってきた同僚もいました。今では皆の暗黙の了解となり、45時間を超えないように調整を行います。「超えてしまう教員は仕事ができない」「上手くやれよ馬鹿だな」職員室で陰口が囁かれます。我々の勤務時間は改ざんされています。	ごじゃっペオセロット
20 教員	小学校	夏休みが短縮されて、自分の家族と過ごす時間がとれない。	匿名希望